

中部地区 公民館だより

第172号

令和7年6月6日発行
上山市中部地区公民館
上山市十日町4番11号
TEL 673-2588
FAX 673-0379

笑顔がいっぱい😊 楽しく活動開始

5月23日(金)、公民館の多目的ホールで令和7年度の「はこべの会」開級式が行われました。今年度は登録者45名でスタートし、開級式の参加者は25名でした。田中会長から「皆さん元気に楽しく1年間がんばりましょう」とあいさつがあり、木村館長からは、「いつでも気軽に公民館に足を運んでください」とあいさつがありました。はこべの会は、会員の要望などを取り入れながら、一日研修や健康講座、料理教室、音楽教室など楽しい学習内容で活動していきます。



第1回学習会

童心に帰って昔遊びに夢中！



あやとり

開級式の後には、あやとり、お手玉、折り紙、コマ、メンコなどの昔遊びで楽しく活動しました。秋に開催を予定している上山小学校児童とのふれあい交流会の練習を兼ねて、興味のある昔遊びを心ゆくまで楽しみました。「子どもの頃はうまくやれたのに、腕が鈍ったな」と笑いながら、何度も4個のお手玉に挑戦する方や、「あやとりは得意なの」と皆に教えてくれる方もいました。男性陣のコマ回しは皆さん上手で驚きました。「子どもの頃は遊ぶものがなくて、毎日これだもの体が覚えてるんだ」と、口をそろえて答えてくれました。懐かしい遊びを体験し、子どもの頃にタイムスリップしたひと時でした。



メンコ



折り紙



コマ

グラウンド・ゴルフ大会



5月26日(月)、市民公園・中央広場にてグラウンド・ゴルフ大会を開催しました。毎年6月に行っていた事業ですが熱中症対策という事もあり、今年は5月に行いました。

15名の選手が8ホールを3回まわり、ホールインワンを狙い熱戦を繰り広げました。4名の方がホールインワンを決めることができました。

初めて大会に参加する方もいましたが経験したことはあるらしく、皆さん和気あいあいと、笑顔で楽しむことができました。



成績発表

- 1位 原田正男さん
- 2位 竹田恵子さん
- 3位 吉田考一さん



おめでとうございます

街歩きウォーキング①



今年度1回目の街歩きウォーキングは、5月28日(水)上十日町地区会長の片桐充さんにガイドを務めていただき、経塚山中腹まで足を延ばし、初夏の新緑や里山に咲く草花と触れ合いながら、ゆっくりと散策を楽しみました。経塚山は、一部が「クアオルト」コースとなっているため、標識が充実。また詩歌碑だけでなく手描によるイラスト詩歌の紹介や案内板も設置されており、歴史やエピソードなど楽しく説明していただきました。参加者の皆さんから、「身近な山にこんな魅力があるとは思わなかった。いろいろ勉強になった。」

「自然と触れ合うことができとても楽しかった。」、「心地良い歩きでした。自分も歩けるということがわかり、嬉しかったです。」などの感想をいただきました。

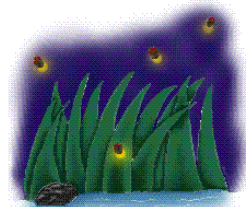
街歩きウォーキング②

ホタル観賞

蒸し暑い夜、夕涼みしながらホタルを観にいきませんか？

日 時	6月21日(土) 午後7時00分集合
集 合 場 所	上山小学校グラウンド南側 市営月岡駐車場
ガ イ ド	牧野義文さん
対 象	中部地区在住の方、上山小学校児童と保護者
参 加 費	無料
募 集 人 数	10組程度 (定員になり次第締切ります)
申 込 締 切	6月13日 (金)
服 装	散策しやすい服装・履物
持 ち 物	懐中電灯、必要な方は飲み物

参加者募集



参加者募集

参加申込みはすべて6月9日(月)、9時から受付できます

フライングディスクと輪投げ

日 時	6月25日(水) 午前9時20分受付開始	午前9時30分から正午
場 所	生涯学習センター	体育館
講 師	フライングディスク	笹原京子さん
対 象	輪投げ	佐竹絹子さん
募集人数	中部地区在住の方	
申込締切	25人(定員になり次第締切ります)	
参加料	2月18日(水)	
持ち物	無料	
	屋内シューズ、タオル	

ミツバチ観察と自然の話

ハチ蜜の森キャンドル(朝日町)に出向き、ネットtentの中で安全に巣箱内を観察します。

雨の場合は工房で講話と作品づくりの予定です。

日 時	7月9日(水) 午前9時~午後4時30分
集合場所	中部地区公民館
講 師	ハチ蜜の森キャンドル 代表 安藤竜二さん
対 象	中部地区在住の方
募集人数	10人(定員になり次第締切ります)
申込締切	7月2日(水)
参加料	1000円
持ち物	必要な方は飲み物
その他	履きなれた靴



公民館からのお知らせ

山形ペンチャーズコンサート

歌声サロン

7/6(日) 午前9:45~午前11:45(受付午前9:15~)

会 場: 三友エンジニア体育文化センター(上山市体育文化センター) エコホール

定 員: 360人 参加料: 無料(当日チケットをご持参ください)

申 込: 各地区公民館にてチケットを配布いたします

(先着順となりますのでお早めに)

配 布: 6/9(月)から開始日 ※チケットが無くなり次第終了

6月の予定

- 7日(土) 公民館清掃
- 12日(木) 上山城周辺清掃
- 17日(火) 高齢者教室 一日研修
- 18日(水) はこべの会 サロン
- 19日(木) 高齢者教室 一日研修
- 21日(土) 街歩き ホタル観賞
- 25日(水) フライングディスクと輪投げ大会

6月の百歳体操

6月のサロン

6月のサロンは特に準備はしません。

自由に集まって持ち寄り楽しい時間を過ごしましょう。

出欠の連絡は必要ありませんので当日おすきな時間に、直接公民館におこください。

日 時 6/18(水) 午前10:00 から
会 場 公民館 多目的ホール

5、12、19、26日

藤井松平氏シリーズ5. 「松平信古侯」(3) 永護之宮③「中村新右衛門」

中村新右衛門のことは、信亨侯で紹介したばかりです。あらためてになりますが、『郷土史』(⑫)に次のように紹介されています。(金子清邦学友の)栗山半兵衛著「金子萬獄翁ばんがくおう小傳」に「天明の頃、参政伊田半兵衛、中村新右衛門など藩政上しやうしやうに関し屢々苦言を藩主信亨侯に呈したることありき。然るにかえって仇となり、天明三(1783)年正月兩人とも、無辜の罪に座し、厳しいお叱りを蒙り、幽閉せしめられ、新右衛門の如きは翌年6月餓死に均しき幽死を遂げたり」と(「上山藩政秘録」)。

その記述前に「天明三(1783)年奥羽両州凶作、上山御領分も不出来で下々の痛みには構わず、世間は飢饉でしたのにお上のためにさへなればご褒美を与えられ、又、小役人どもまで収税を第一に心がけ取り立て厳重だったので藩財政が整い、改革派の祝弥三左衛門は隠居、伊田半兵衛、増戸庄右衛門、中村新右衛門三人は嚴重お咎めとがのうえ蟄居ちつきよ仰せつけられ、嫌気がさした家老松平善右衛門は願いの通り隠居、まもなく出奔しました。へつらいの面々は時を得たように登庁し、斎藤求馬は重きお役義、殿のお側の者ばかりへ禄高く与えて益々驕奢きやうしやお盛りで風俗は乱れ」〔第一回政変〕と綴られています。殿の分家の上田藩松平伊賀守より嚴重申し入れがあり(家老を世話役として上山へ派遣)で終に信亨侯の隠居ねいしんとなったのですが、信古侯代も佞臣を取り替えなかったために改革進まず、最終的に正義派中老渡辺五郎左衛門、家老代金子六左衛門(与三郎祖父、萬獄)らが隠退覚悟の諫言により終熄しゅうそくに向かった〔第二回政変〕のは先号まで見てきた通りです。

中村新右衛門「蟄居日記」の最後に「(1784)正月元日珍しく春を迎え、明け六つ過ぎに目覚めて東の窓を見ましたところ、朝日がいと長閑のどかでしたので歌を詠みました。「きょうにいへば朝日影いと長閑けきにかかる家(牢獄部屋)にも春

や来ぬらん」。

正月十七日例の通り朝飯給されず(略)、母の快気、妹の安産を秋葉山十一面観音尊へ祈願、真言日々一万遍づつ、古文孝経を又一篇ずつ読み始めました。閏の正月二日より出された給米を粥にて大根干し葉を沢山入れ食べ候、・・・塩を力に耐え美味、快く候。正月二十三日より歩行や起居ことさらに大儀に付き休息・・・。」日記を記す力なくこと切れるまで夢うつつながらどれだけ長い日々に家族を思い、郷土上山を思ったことでしょはんこくう。天明四(1784)年七月四日新右衛門は万斛の涙をのんで獄死しました。これが「御霊之宮」に祀られた③中村新右衛門の顛末です。

以上、「崇り」説に従い藤井松平家史のなかの「北斗寺父子」「石田丈右衛門父子」「中村新右衛門」が祀られたという「御霊之宮」のことを見てきました。信亨の子信古侯は父が勧請した「御霊之宮」に参詣のぶつらしました。どのように思っていたのでしょうか。

ここまで紹介してきましたが、伝承にイソップ物語やアンデルセン童話のような寓意や教訓くういがあるとしたら?これを読み取ることが郷土史の別な味わい方、楽しみ方なのかも知れないと思います。

幕藩体制維持のための大坂加番勤役、旅費の借金、お家伝来の儒書・軍書売却の「放蕩至極」の十八世紀末信亨、信古侯二代時代は寛政七(1795)年十月に終わりました(信古侯二十七才)。殿の出来事に関わりすぎましたが、以上が秘された上山郷土史の「隠符」(幕府の陰謀、殿の瑕瑾かきんの史実)で、上ノ山に何を残したのでしょうか。

今回は、人物の背景を探り時代を見ていきたいと考えています。

※参照文献：『市史』、『御傳記』①、『郷土史』⑫、『見聞隨筆』⑮⑯、『内証事件史』⑮、『郷土史物語』(梅津吉造著)などを参照しました。